

第610号



喬木村公民館：長野県下伊那郡喬木村6664



発行日 2020年1月16日
 発行責任者 喬木村公民館長 徹
 市 瀬 公民館編集部長
 編集責任者 仲田久志
 印刷 龍共印刷株式会社



新年明けましておめでと
 うございます。村民の皆様
 には、日頃から喬木村公民
 館の活動にご理解とご協力
 をいただき、誠にありがと
 うございます。

元号が令和に変わり、最
 初の新年を迎えました。昨
 年は台風十五号、十九号
 によって大きな被害を受
 けた地域がありました。身
 近なところでは千曲川の堤
 防が決壊し、長野市北部
 が水につかるという災害が
 起こりました。被害に遭わ
 れた方々は今も大変な生活
 を強いられており、一日も
 早い復旧をお祈り申し上げ
 ます。地球温暖化が原因な
 のか、想定を越える大雨が
 降ったり超巨大な台風が
 やつてきたりすることが多
 くなったような気がしま

す。千曲川氾濫も人ごと
 はなく、同じように天竜川
 が氾濫する可能性もあるの
 ではないかと不安を感じる
 この頃です。災害への備え
 を万全にし、万一の時の被
 害を最小にする、減災のた
 めの対策に村民全員で取り
 組んでいく必要があるのだ
 はないかと思ひます。

スウェーデンの高校生、
 グレタ・トゥーンベリさん
 が始めた「学校ストライ
 キ」が世界中に広がってい
 ます。集中豪雨や干ばつ、
 猛暑など、地球温暖化が原
 因と思われる異常気象を止
 めるために、大人たちや政
 治家に具体的な行動を起こ
 すよう訴えています。若者
 にとつての数十年後は社会
 の中核を担っている時です
 が、大人にとつては現役を

終えて老後の生活を送つて
 いる時です。あるいはすで
 に亡くなっているかもしれ
 ません。大人に、政治家に
 未来に対する責任を果たす
 ように訴えるグレタさんた
 ちの言葉に耳を傾け、将来
 につけを回さない生き方を
 真剣に考えていかなければ
 ならないと思ひます。政
 治家はもちろ
 ん、我々一人一
 人が、災害が頻
 繁に起こる今
 の状況を改善
 するために、動
 きださなけれ
 ばならないと
 思ひます。

今年も村民
 の皆様に参加
 していただい
 たいと思ひま
 す。

新年一月四日(土)、た
 かぎスポーツクラブ主催の
 「書き初め会」がみんなの
 広場・アスポで開催されま
 した。

年始イベントの恒例と
 なった書き初め会は今回で
 五回目。
 今年は地区の行事等と重
 なり、参加者は少なめでし
 たがその分しっかりと指導
 を受けることができ、集中
 して取り組む姿が見られま

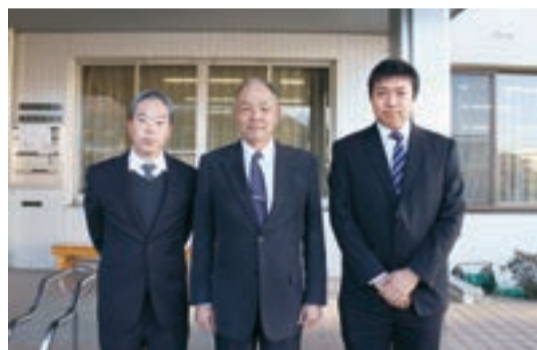
たかぎスポーツクラブ 恒例の書き初め会を 行いました!!

新年

大きな紙にバランスよく
 書く難しさ、さらに自分の
 名前を書く難しさを感じな
 した。



手を汚しながら一生懸命
 書いている姿はとても素晴
 らしかったです。
 冬休みの宿題のひとつを
 終了させることができみな
 な満足そうでした。
 書き終えた子から片付け
 をしてお年玉のお菓子をもち
 らい書き初め会も終了しま



今年もよろしくお願いいたします

るよう、多くの方々のご意
 見ご要望をお聞きしながら
 公民館事業を進めて参りた
 いと思ひます。そして、公
 民館の使命である平和と民
 主義を守り、村民の皆様
 のつながりづくり、地域づ
 くりにご貢献できるように取
 り組んでいきたいと思ひま
 す。終わりにになりました
 が、今年が皆様にとつてよ
 い年となりますことを心よ
 り願ひ、公民館からの新年
 の挨拶とさせていただきます

から紙に向かっている様子
 でした。

一番初めに書いた作品が
 いい出来の子や、何度も何
 度も納得がいくまで書いて
 いる子など様々でしたが、
 ひとりひとりその子らしい
 作品が出来上がったと思ひ
 ます。

たかぎスポーツクラブで
 は、定期的な活動や会員の
 方以外も参加できるイベン
 トなどを、今年も企画して
 いくとのこと。ぜひ、活動
 やイベントに参加してみ
 はいかがでしょう。



たかぎスポーツクラブ問
合せ先：三三三五七〇

お知らせ

第37回ふるさとづくりフォーラム

テーマ 来たぞ!災害 その2
 ～パニック!そのときあなたは どうする?～
 日時 ●2月9日(日) 13時15分から
 場所 ●福祉センター2階多目的ホール
 内容 ●台風19号災害ボランティアの報告
 ○講演会
 「我がこと!防災
 ～主体的に取り組むコツとは～」
 講師 飯田市危機管理室 後藤武志さん
 ○クロスロード
 カードゲーム形式で学びます

第4回 公民館平和学習会

日時 ●2月11日(火) 午後7時00分
 会場 ●福祉センター2階 多目的ホール
 講演会 ●「追悼 中村哲医師が遺したもの」
 講師 喬木村出身飯田市美術博物館
 青木隆幸さん

寒さ本番になりはじめた
 十二月八日、学遊塾第四講
 座が行われました。
 今回は「サンデイサン
 ド」の小林美和さんを講師
 に迎え、まん丸食パンを使
 いフルーツと生クリーム
 たつぷりのサンドイッチを
 教えて頂きました。
 クリスマスのケーキとい
 うとスポンジ生地に生ク
 リームが定番ですが、パン
 を使って作るという事で、
 どのようなものか楽しみ
 していました。

まず、①丸パンを四等分
 に切り、②フルーツをカッ
 どのように飾ろう
 か考えながらの作業
 は皆さんとても楽し
 そうでした。例えば
 四枚のパンを二枚ず
 つ使ってサンドイッ
 チのように作る人、
 四枚のパンをすべて
 重ねてタワーのよう
 に作る人、どれ一つ
 とっても同じものは
 なく、皆さんそれぞれ
 の個性が出ているサ



講師の小林さんと参加者と一緒に記念撮影

公民館 楽遊塾 第4講座
クリスマスイベント
 ～デコレーションサンド作り～

ト、スライスします。今回
 用意していただいたフルー
 ツは、喬木産のいちご、み
 かん、バナナ、キウイで
 す。③パンにクリームを絞
 りフルーツを重ねていきま
 す。④仕上げにフルーツ、
 チョコレート、ココアパウ
 ダーなどお好みで飾ってい
 きます。工程にはコツがあ
 り、フルーツは水分が多い
 為、切ったらずぐにキッチ
 ンペーパーに置き余分な水
 分はぬく事、又生クリーム
 はクリームチーズを入れて
 作ると固めに出来上がり、
 時間が経ってもクリームが
 垂れないそうです。(今回
 は小林さんが前もって用意
 してくれました。)

最後にありますが、小林
 さんは、サンデイサンドと
 して地元の食材をふんだん
 に使用し、おしゃれでおい
 しいサンドイッチを販売し
 ていらっしやいます。主食
 としてのサンドイッチはも
 ちろん、デザートとしても
 レパートリーが非常に豊富
 です。ぜひ皆さんもお試し
 下さい。

あの時

子どもたちが働く十年
 二十年后は、AIやロボッ
 トの発達で今ある職業の
 半分はなくなると言われ
 ている。俄には信じがたい
 が、中国では無人のコンピ
 ニがで、どんどん増えて
 いく勢いだという。AIや
 ロボットが人のやっていた
 る仕事を担うようになり、
 ロボットと競い合って仕
 事を得なければならぬ
 時代が来るのだろうか。

確かにAIやロボット
 で置き換えられる仕事は
 増えるだろう。しかし、私
 はAIやロボットでは置
 き換えることができない
 仕事は必ずある。そして、
 置き換えてはいけない仕
 事があると思うのだ。AI
 やロボットに力を借りて
 仕事をする人、AIやロ
 ボットを使って仕事をす
 る人、そして、人にしかで
 きない仕事をする人など、
 様々な働き方があるので
 はないかと思う。未来を生
 きる子どもたちが身に付
 けなければならぬ力は、
 どんな力なのだろうか。

AIやロボットを利用す
 る場面は確かに増えていく
 と思う。しかし、AIやロ
 ボットを使う、あるいは活
 用する力は、子どもたちが
 身につけなければならぬ
 力の極わずか部分だと私は
 思う。どんな仕事をするに
 してもその根っこは人間だ
 けがもつ人間性だ。豊かな
 人間性こそが、予測不能な
 未来を力強く生き抜いてい
 く原動力になると私は信じ
 たい。(館長)



平成20年生 12歳 (上平) 奥村優人

今年の子年で、ぼくは、十二歳になります。今年、小学校生活最後の年となるので、ぼくの中で、目標を二つ決めました。

一つ目の目標は、野球です。ぼくは、一年生から野球を始めました。その野球の集大成の年となるので、いつも以上に気合いを入れて、一戦一戦試合にのぞみたいと思います。

今年からまた一段と試合の数が増えます。ぼくは、この日、このしゅん間のために今日まで練習を積み重ねてきました。その努力が120%出せるようにこれからも日々練習していきたいです。

二つ目の目標は、勉強で

す。今年もまた学年が上がります。いよいよ今年、六年生になります。六年生になると、勉強も一段とむずかしくなります。ぼくは、まだ将来何をしたいか決めていませんが、決めた時、行きたい道に行けるように今は一生懸命勉強をしています。これからも一そう努力をしていきたいです。

最後にぼくは、今でも今年の目標にむかってがんばっています。目標は、達成するためにあると思います。だから、目標にむかって、がんばっていききたいと思っています。



平成8年生 24歳 (上平) 森谷春希

新年明けましておめでとうございます。私は、平成八年に上平で生まれました。

た。高校卒業まで喬木村で過ごし、その後山梨県の大宮に進学して四年間の大学生生活を過ごしました。そして就職を機に喬木村に戻ってきました。

現在は障がいを持つ方たちの通所施設で支援員として働いています。大学で勉強したことを活かしながら、楽しく働いています。

また、就職して二年経とうとする今でも学ぶことが多い、勉強の毎日です。今年の抱負ですが、旅行で色々な場所に行きたいと思っています。ふらふらと旅行するのが好きで、大学生の頃はたまに一人で遠出をしたり、高校時代の友人の住む所に行き、友人と一緒に観光したりなどしていました。社会人一年目、二年目、とあつという間に過ぎてしまい、まったり旅行するというのがなかなかできなかったのですが、今年はいざ旅行がしたいと思っています。

新年あけましておめでとうございます。十二年前に喬木村に帰ってきて、あつと言う間にまた子年を迎えました。十二年前は子どもが自分と同じ保育園に通い、同級生の子どもとお友達になって遊び、担任だった先生に親子二代で見てもらえるなんて想像もしていませんでした。

忙しい日々を送っていましたが、旦那さんと両親、保育園や学遊館、地域の皆様を借りながら子どもも自分自身も充実した時間が過ごせています。時々保育園の送り迎えで歩く事があるのですが、地域の方々が笑顔で挨拶してくれたり声を掛けてくれたりすると、自分の幼少期と変わらない喬木村の温かさを感じます。この様な環境で子育て出来る事を幸せに思います。



昭和59年生 36歳 (帰牛原) 中平淳子

今年、ついに仕事復帰をします。本当に不安でいっぱいですが、家族で助け合い、周りの皆様に協力してもらいながら元気に頑張っていきたいと思っています。

昨年はお産をし、家族が一人増えてバタバタとした。今年はおめでどうございませう。本年もよろしくお願ひいたします。干支が四週目最後の年となりました。

「大いに語る」ことなどないのですが、還暦を前にして思うことを簡単に記します。

月並みですがまず「月日の流れの速さ」の実感です。同じはずの月日が年齢を重ねると短く感じるのは中学生の頃からだったような気がしますが、加速度的に速くなってきたように感じます。同じ仕事や作業にかかる時間も短くなり、忙しさも増してきました。

加えて、地域の仕事や、義理などに時間を費やすこと次々と起きました。四週目は、非常に貴重な経験を消滅団でさせていただけました。この経験はしっかりと活かしていきたいと思っています。

また、良い出会いが良いご縁となり、あきらめかけていた子宝にも45歳にして恵まれました。今はしっかりと歩けるようになり目が離せませんが、おかげに何でもたくさん食べてくれますし、これまでに夫婦に育っています。たまに孫と間違われながらも毎日が自己ベストを更新中の息子を誇らしく思いながら、家族みんなで楽しく暮らしていきたいと思っています。



昭和35年生 60歳 (南) 木林淳至

とが多くなり、また、身体があちこちが痛んだりして以前の様には動けなくなったりもし、年をとって碌なことはないと感じています。：反面、そうやって学ぶこともいくつかあるのですが、説明するのは億劫です。

私事では、今年(二〇一九年)母が大病をし、生活が大きく変わらざるを得ませんでした。定年を待たずに勤めの仕事を辞めようかと

七回目の年男を迎え、激動の時代を体験できたと思いつつ、さて、何をしようかと迷いながら、筆をとり、昭和十一年生まれの八十年を振り返って見た。

も考えたのですが、あと一年だし(ゴマカシつ)頑張るか、今は思っています。

定年後は、せっかくあるうちの畑で少々でも作物を育て、収入につながる見込みはないのですが、なんだか身についてしまった作曲の技能を活かして作品を書き、発表を続けていくことを考えています。現在の夢は「農業ソングライター」といったところです。



昭和11年生 84歳 (寺ノ前) 宮下 仁

戦中戦後の物ない食糧難の幼少時代、貧困が教えてくれた忍耐、その後戦後の復興と共に、急速に普及した洗濯機、冷蔵庫、テレビなどの電気製品は生活様式

それぞれの舞台でどれだけ真剣に向き合えるかで、未来は変わってくるかと常々考えている。その積み重ねが大事であり、諦めることなく動き続けることが大きな力となる、人とのつながりの中で生かされている個を再認識し、ねずみの様にちよこまかと動き回り、ひとりでも多くの人の役に立ち、幸福をもたらしたい。

そんな時代背景の中、私は、時代に添った設備の仕事を始め四十年、これからは微力ながら皆様のお役に立てればと、続けて行きたいと思っています。日々進歩する社会に取り残されない様に、携帯電話や、パソコン等も手掛け、今の平和と、健康に感謝し、余暇を利用してマレットゴルフ、家庭菜園を楽しみながら過ごして行きたいと思っ

た。そんな時代背景の中、私は、時代に添った設備の仕事を始め四十年、これからは微力ながら皆様のお役に立てればと、続けて行きたいと思っています。日々進歩する社会に取り残されない様に、携帯電話や、パソコン等も手掛け、今の平和と、健康に感謝し、余暇を利用してマレットゴルフ、家庭菜園を楽しみながら過ごして行きたいと思っ

た。そんな時代背景の中、私は、時代に添った設備の仕事を始め四十年、これからは微力ながら皆様のお役に立てればと、続けて行きたいと思っています。日々進歩する社会に取り残されない様に、携帯電話や、パソコン等も手掛け、今の平和と、健康に感謝し、余暇を利用してマレットゴルフ、家庭菜園を楽しみながら過ごして行きたいと思っ

たかぎ短歌会

師走歌会詠草

紅葉の一枝折りて下山する山城の秋深まり行きぬ

桐原 邦夫

教皇の「核廃絶」の訴えは慈しみの心沁み渡り来し

知久 美子

パレードの皇后さま美しく国民にはほほえみ手を振り令和始まる

田中 妙子

ラグビーと桜を見る会ワンチーム良きも悪しきも集ひて

市瀬 准子

雅子さま何度も拭う涙には苦悩と喜び吾も貰い泣く

小椋 りよ

車窓より真つ赤に実る林檎見ゆ瞬時に被災地の惨状浮かぶ
道すがら吾の手本とする畑あり胡瓜幾千そだてし圃場
元島 康子

夕餉時渡り廊下に一片の黄葉拾いぬ涼かぜの寮
大村 初見

柿作業のお給金を頂いて働ける身の有難さ思ふ
木下 寿子

それぞれの年輪を顔に集ふ友同級会に花を咲かせて
関島 春子

一筋に励み来たりし農の道病を得ても思ひは圃場に
木林 睦枝

ときめきも感動もなきこの日頃腰痛堪へシャンハイへ飛ぶ
福澤 亀人

一筋に励み来たりし農の道病を得ても思ひは圃場に
木林 睦枝

ときめきも感動もなきこの日頃腰痛堪へシャンハイへ飛ぶ
福澤 亀人

ときめきも感動もなきこの日頃腰痛堪へシャンハイへ飛ぶ
福澤 亀人

ときめきも感動もなきこの日頃腰痛堪へシャンハイへ飛ぶ
福澤 亀人

編集後記

新元号「令和」で迎える初めての正月となった。今年初の干支は子年であり、個人的には四度目の年男となった。東京五輪開催の年でもあり、何かと世界とつながりを意識することになるであろう。国家、地域、団体、個人が